



巻頭言 古書から学ぶこと 神戸芸術工科大学教授 西村幸夫

特集

## 古書から学ぶ

### ① 座談会 だから古書はおもしろい!

旅行案内書から見る日本のリアル

旅行は社会が生み出したもの。旅行に関する古書を通して、私たちの社会が歩んできた姿が見える。

荒山正彦 (関西学院大学文学部教授)

山口誠 (獨協大学外国語部交流文化学科学科教授)

木田拓也 (武蔵野美術大学造形学部教授) P 4

コラム① 木下淑夫と木下文庫

コラム② 旅行案内書の系譜

コラム③ ジャパン・ツアーリスト・ビュロー機関誌「ツアーリスト」

進行○塩谷英生(公財)日本交通公社  
大隅一志(公財)日本交通公社  
構成○福永香織(公財)日本交通公社  
編集協力○井上理江  
写真○村岡栄治

### ② 戦時下の国土休養地計画

雑誌「国立公園」と田村剛

1929年創刊の「国立公園」。今も続くこの雑誌は、田村剛の名を抜きには語れない。1942年掲載の彼の論文「国土計画と保養地」で提案された国立公園の体系は、ほぼそのままのカタチで実現している。

(二財)自然公園財団専務理事  
阿部宗広

コラム④ 復刻版の意義と課題

不二出版株式会社 会長  
船橋治

### ③ 日本の温泉医学、

その新時代への起点を古書から見つける

NPO法人健康と温泉フォーラム 常任理事  
合田純人

『ベルツの日記』。この本は、日本人が置き忘れてきた大切な何かを考えさせる。





④

## ホテル建築からみた 書籍の情報と時代性

古書を手にとって見えてくるのは、自分の置かれた時代性だ。古書はいつも、新しい。

コラム⑤ 社史利用のススメ

神戸女子大学  
家政学部家政学科教授  
砂本文彦

P 24

## ⑤ 国際観光局の10年

戦前期日本の観光政策の白眉「観光事業十年の回顧」。  
この古書から、国際観光局が置かれた状況と外客誘致への想いがわかる

立教大学  
観光学部 交流文化学科 准教授  
千住 一

P 29

### 視座

古書は

いつも

あたらしい

古書をひもとく「尺度」をみがく

聞き手〇 福永香織  
大隅一志  
編集協力〇 井上理江  
写真〇 村岡栄治

P 34

あとがき

100年先でも通じる考え方のヒントを得る上で、  
古書は大きな力になってくれる。

「旅の図書館」館長  
福永香織

P 40

コラム⑥ 「100年前の観光」を観光する——獨協大学 山口ゼミ

コラム⑦ 古書の探し方

コラム⑧ (旅の図書館以外にもあります) 観光関連の古書・貴重資料を所蔵する図書館・博物館

P 46

P 42

P 45

旅の図書館だより

## 「旅の図書館」の40年

PART1 旅の図書館40年の歩み—小史—

PART2 たびとしよコレクションができるまで

PART3 旅の図書館リニューアル回想録 2014-2016背景と経緯

ジャパン・ツーリスト・ビューローの機関誌「ツーリスト」

P 60

P 55

P 54

P 47